

9/7-13 **#6**神にしたがって牧養する:Ⅰ.今日の主の回復には、牧養するという緊急の必要があります。Ⅱ.牧養することは、すべてを含む優しい顧みを羊の群れになすことです:A牧養は、羊のすべての必要を顧みることを指しています。Bすべての羊は十分な備えを得て、良い世話を受ける必要があります。Ⅲ.キリストは良い牧者、大牧者、牧者の長、私たちの魂の牧者です:ヨハネ10:10 私が来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。11 私は良い牧者である。良い牧者は羊のために自分の命を捨てる。A主イエスが良い牧者として来たのは、私たちが命を得、しかも豊かに得るためです:1彼は、ご自身の魂の命、すなわち人の命を捨て、ご自身の羊のために贖いを完成しました。それは彼らが彼の「ゾーエ」の命、すなわち彼の神聖な命にあずかるためです。2彼はご自身の羊を囲いから連れ出して、牧場、すなわち養う場所としてのご自身の中へと導きます。そこにおいて彼らは自由に彼を食べ、彼によって養われます。3主はユダヤ人信者と異邦人信者たちをご自身の牧養の下で、一つの群れ(召会、キリストのからだ)へと形成しました。ヨハネ10:16 また私には、この囲いのものではない他の羊もいる。私は彼らをも導かなければならない。彼らは私の声を聞く。こうして一つの群れ、ひとりの牧者となる。B神は「永遠の契約の血による羊の大牧者である私たちの主イエス(ヘブル13:20)」を死人の中から復活させました:1永遠の契約は、牧養することによって新エルサレムを究極的に完成することです。2永遠の契約は新しい遺言の契約であって、群れ、すなわち召会を得るためであり、その結果は、キリストのからだであり、新エルサレムにおいて究極的に完成します。Cキリストは牧者の長として、諸召会の長老を通してご自身の羊の群れを牧養します:1長老が牧養することがなければ、召会は建造されることができません。2長老が牧養することは、キリストが彼らを通して牧養することであるべきです。D霊なるキリストは私たちの魂の牧者として、私たちの内側の状態を監督し、私たちの内なる存在の状況を顧みます:1ペテロ2:25 あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、あなたがたの魂の牧者また監督者に立ち返ったのです。1彼は、私たちの魂の益を顧みることによって、また私たちの内なる存在の状態を監督することによって、私たちを牧養します。2私たちの魂はとても複雑なので、私たちの霊の中の命を与える霊であるキリストが、私たちの魂の中で私たちを

牧養することと、また私たちの思い、感情、意志と、私たちの問題、必要、傷を顧みることとを、私たちは必要とします。

Ⅳ.私たちは神にしたがって牧養するために、神と一になり、神で構成され、神を生き、神を表現し、神を代行し、神を供給する必要があります:エペソ4:11 そして彼ご自身は、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧する者また教える者として与えられました。12 それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり。A神にしたがって牧養することは、私たちが神と一となることと、神で構成されることを必要とします。B神を生きている人だけが、神にしたがって牧養することができます。C神の永遠の定められた御旨は、ご自身を命として私たちの中へと造り込んで、私たちに彼を表現させることです。D私たちは神にしたがって牧養する人たちとして、神を代行し、代理の神として機能する必要があります。E神にしたがって牧養することは、神を人に供給することです:1私たちがどれほど人に神を供給することができるかは、私たちが命の流れ出のために神によって碎かれていることにかかっています。2もし私たちが互いに神を供給しようとするなら、恵み、真理、霊、命の言葉を語り、私たちの存在の中へと造り込まれた手順を経た神を供給する必要があります。エペソ4:29 腐敗した言をあなたがたの口から出すことなく、必要に応じて、建造するのに良い言だけを語り、聞く人たちに恵みを与えるようにしなさい。Ⅴ.ペテロは長老たちに、神にしたがって神の群れを牧養するように命じました:1ペテロ5:2 あなたがたの間の神の群れを牧養しなさい。強いられてではなく、自ら進んで、神にしたがって監督し…。A「神にしたがって」とは、私たちが神を生きなければならないことを意味します。B私たちは神と一であるとき、他の人たちを牧養することで神となり、神です。C神にしたがって牧養することは、神の性質、願い、方法、栄光にしたがって牧養することであって、私たちの好み、関心、目的、個性にしたがって牧養することではありません。D神にしたがって牧養することは、神が彼の属性において何であるかにしたがって牧養することです。E私たちは、神にしたがって牧養するために、命、性質、表現、機能において神となる必要があります:1私たちは神聖な命であふれるばかりに満たされて、三一の神を源泉、泉、川として享受し、神聖な命の総合計となり、神聖な命その

ものとさえなる必要があります。**2**私たちは、神の愛、光、義、聖という属性において神となる必要があります。**3**私たちはキリストの複製、すなわち神の表現となって、私たちの牧養において神を表現する必要があります、私たちの自己をその個性また特異性と共に表現してはなりません。**4**私たちは神の機能において神となり、彼であることにしたがって、また彼のエコノミーにおける目標にしたがって、神の羊の群れを牧養する必要があります。**VI.キリストのからだを建造する牧養は、相互の牧養です:1コリント12:24** 神は欠けている肢体にさらに豊かな尊さを与えて、体を調和させられました。**A**私たちはみなキリストの有機的な牧養の下におり、彼と一になって人を牧養する必要があります。**ヨハネ21:15**「主よ、私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の小羊を養いなさい」。**17** ...そして彼はイエスに言った、「主よ、あなたはすべての事をご存じです。私があなたを愛していることは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を養いなさい」。

Bすべての信者は、命における成長にかかわらず、牧養を必要とします。**C**私たちはみな欠点や短所を持っており、他の人に私たちを牧養してもらう必要があります。**D**私たちは羊であり、また牧者であって、相互性の中で牧養し、牧養されます。**E**この相互の牧養を通して、からだは愛の中でそれ自身を建て上げます。**エペソ4:16** この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

証私は学生時代、朝起きることがとても苦手でした。特に高校2年生の頃にそれがひどくなり、休む日が増え、学校に行けたとしても午後からになる日が多くなりました。体調不良も原因の一つでしたが、主な原因は、私の魂がとても複雑になり、悩みが増え、考え方が消極的になってしまったことでした。高校3年生になると少し改善され、成績を大きく上げることができたので、希望していた大学に合格できました。主に感謝します。しかし、希望の大学に入学して安心してしまい、再び元の状態に戻ってしまいました。その結果、朝起きられず、1限目の授業の単位をよく落としてしまいました。さらに、大学4年生になり、研究室に配属されてからも、朝起きられないので研究室へ行けず、休む日が増えていきました。最終

的に、先生から親に連絡が来るまでになりました。この状態は大学院修士課程の2年間も続きました。主はこの墮落した状況を、主を愛する姉妹との婚約と結婚によって、解決してくださいました。まず、私は修士1年生の最後の3月末に婚約しました。8月に教員採用試験を受ける予定でしたが、なかなかそのための勉強が手についていませんでした。婚約後、余力家の一室で、姉妹に答えを見ながら質問してもらう形で試験勉強をしました。姉妹の助けにより、試験勉強は大いにはかどり、最終的に兵庫県の高校教員採用試験に合格できました。主に感謝します。

そして、翌年の大学院2年生の2月に結婚しました。結婚してからすぐ、治らないと思っていた朝起きられない生活習慣は主に癒されて、毎朝起きられるようになりました。それは、姉妹と一緒に朝ごとの復興をしたり、朝食を食べたりすることを通して、姉妹が神に従って私を牧養してくれたからです。結婚生活を通して、生活の良いリズム、早寝早起きが自然に実行できるようになりました。姉妹との水平の交わりを通して、主との垂直の交わりも回復され、魂の牧者である主が、私の複雑な魂の問題を顧みてくださいました。**1ペテロ2:24** 私たちが罪に死んで、義に生きるために、彼は私たちの罪を、ご自身の体において、木の上で担われました。その方の打たれた傷によって、あなたがたはいやされたのです。**FN8**「癒されたのです」：死のいやし。私たちは死んでいましたが、キリストの死の苦しみは私たちの死をいやしました。それは、私たちが彼の復活の中で生きるためです。

25 あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、あなたがたの魂の牧者また監督者に立ち返ったのです。**FN2**「牧者また監督者」：キリストは木の上の彼の死において、私たちの贖い主でした。今や彼は私たちの内側で、復活の命の中で私たちの魂の牧者、また監督者です。ですから、彼は私たちを導き、また命をもって私たちに供給することができます。それは、私たちが彼の苦難の足跡をたどり、彼の原型に従うためです。**FN3**「魂の牧者」：私たちの魂は、私たちの内側の存在、真のパースンです。主は私たちの魂の牧者また監督者として、私たちの内側の各部分を顧みることによって、また私たちの真のパースンを監督することによって、私たちを牧養されます。

今は、姉妹と取り組んで青少年を牧養しています。自分の好み、関心、目的、個性にしたがってではなく、神の性質、願い、方法、栄光にしたがって牧養することをさらに訓練します。